

プログラム名	数学
概要	<p>数学は古代に人類社会の発展のなかで生まれ、数千年の歴史の中で進化し深められ、精緻で壮大な知的体系を作り上げてきた。そしてその成果は多くの科学分野に応用されている。また近年のコンピュータの発展は、科学における数学・応用数学の位置を益々重要なものとしている。</p> <p>現在では数学的手法は理工系の学問だけでなく人文科学、社会科学でも必須のものである。数学を学ぶことによって身につけることのできる「秩序立てた論理的思考力と問題解決能力」は、社会から非常に高く評価されているだけでなく、最も求められている能力といえる。</p> <p>本プログラムで学ぶことにより数学の基礎的素養と、数学を実際に活用する態度を身につけることができる。</p>
履修資格	
修了要件	<p>次の条件をすべて満たしていること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 所定の授業科目について12単位以上を修得していること。</li> <li>・ 学位プログラムが決定していること。</li> <li>・ 学位プログラムが数学プログラムではないこと。</li> <li>・ 創生学部生で「数学領域学修科目パッケージ」を選択していないこと。</li> </ul>
その他特記事項	理学部と創生学部の学生を優先的に聴講許可します。

区分	開講番号	開設科目名	単位数	開講学期	曜限	授業形態	対象学年	分野	水準	定員	隔年開講	備考
	243S0544	微分積分学IA	1	第3ターム	金4	講義	1,2,3,4	41	03	160		
	244S0548	微分積分学IB	1	第4ターム	金4	講義	1,2,3,4	41	03	160		
	243S0547	集合と写像	1	第3ターム	月5	講義	1,2,3,4	41	03	70		
	241S0552	微分積分学IIA	2	第1ターム	火3,金3	講義	2,3,4	41	03	160		
	242S0555	微分積分学IIB	2	第2ターム	火3,金3	講義	2,3,4	41	03	160		
	241S0553	線形代数IIA	2	第1ターム	月2,木3	講義	2,3,4	41	03	160		
	242S0556	線形代数IIB	2	第2ターム	月2,木3	講義	2,3,4	41	03	160		
	243S1501	解析学序論A	1	第3ターム	金3	講義	2,3,4	41	03	70		
	244S1507	解析学序論B	1	第4ターム	金3	講義	2,3,4	41	03	70		
	243S1502	代数・幾何学序論A	1	第3ターム	月2	講義	2,3,4	41	03	70		
	244S1508	代数・幾何学序論B	1	第4ターム	月2	講義	2,3,4	41	03	70		
	243S1505	代数入門A	2	第3ターム	月4,火2	講義	2,3,4	41	04	70		
	244S1511	代数入門B	2	第4ターム	月4,火2	講義	2,3,4	41	04	70		
	243S1504	微分方程式論A	1	第3ターム	火3	講義	2,3,4	41	04	50		
	244S1510	微分方程式論B	1	第4ターム	火3	講義	2,3,4	41	04	50		
	241S1519	数値解析A	1	第1ターム	月4	講義	3,4	41	04	50		
	242S1529	数値解析B	1	第2ターム	月4	講義	3,4	41	04	50		
	241S1514	複素解析学IA	1	第1ターム	金2	講義	3,4	41	04	50		
	242S1524	複素解析学IB	1	第2ターム	金2	講義	3,4	41	04	50		
	243S1567	離散数学A	1	第3ターム	火2	講義	3,4	41	04	70		
	244S1568	離散数学B	1	第4ターム	火2	講義	3,4	41	04	70		
	244S1547	オペレーションズ・リサーチ実習	1	第4ターム	火5,金5	実習	3,4	41	04	50		
	243S0545	線形代数IA	1	第3ターム	木1	講義	1,2,3,4	41	03	160		
	244S0549	線形代数IB	1	第4ターム	木1	講義	1,2,3,4	41	03	160		

※1 対象学年はシラバス「聴講指定等」も参照してください。 ※2 定員等の関係で履修できない科目もあります。